

色をマスターしてセンスアップ その2

カラーコーディネートのルール

今回で紹介するのは、サブカラーとアクセントカラーの上手な使い方。大まかなルールを覚えておくと、驚くほど部屋がセンスアップします。また、色は人間に様々な心理的作用をもたらしますので、色の効果もあわせてご紹介いたします。

●サブカラー

テーブル、ソファ、カーテン、ラグなど

●アクセントカラー

クッションや絵、雑貨、花、植物など

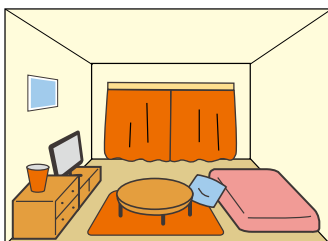
サブカラーとアクセントカラー

アクセントカラーに濃い色を使うと、部屋が一気に引き締まります

① 失敗の少ない組み合わせ

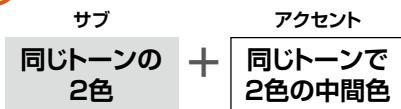


サブカラーには、ピンクとオレンジ、ブルーとグリーンなど近い範囲の色同士を組み合わせます。似た色の組み合わせは、ぼやけた印象になりやすいので、アクセントカラーに反対色を入れます。

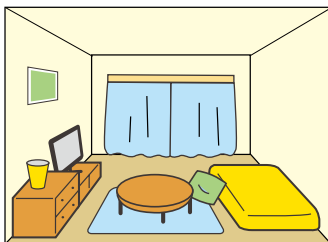


サブカラーを類似色のピンクとオレンジにし、アクセントカラーをサブカラーの反対であるブルーに。

② いくつかの色を使いたい



サブカラーに、ブルーとイエロー、オレンジとグリーンなどをトーンをそろえて組み合わせます。アクセントカラーには、同じトーンで2つの色の中間色を入れるといいでしょう。

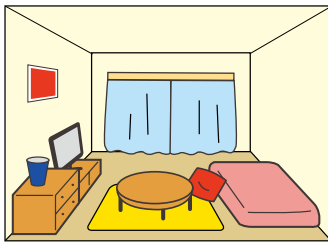


サブカラーを同じトーンのブルーとイエローにし、アクセントカラーをブルーとイエローの中間色であるグリーンに。

③ 個性的な雰囲気演出



高度な技なので、色のトーンをそろえるのがポイント。特に、レッド、ブルー、グリーンを使う場合は、明るいトーンか暗いトーンに統一しましょう。アクセントカラーには反対のトーンのものを入れましょう。



サブカラーに明るいトーンのままさまざまな色を使い、アクセントカラーはサブカラーと反対の暗いトーンの色に。

色の効果

色がもたらす効果を知り、自分の気持ちにぴったりの色を選びましょう

ピンク

イライラした気持ちを鎮めてくれる色

レッド

やる気や食欲を起こす色

オレンジ

最もあたたかさを感じさせる色

イエロー

集中力を高めたり、気分を陽気にする色

ブルー

リラックスやクールダウンに効果的な色

パープル

ストレスや疲れ目にいい色

グリーン

人の間に調和を生み、訪れた人を和ませる色

グレー

疲れた心を優しく包み込む働きのある色

ホワイト

どんな色とも相性のよい万能色

ブラック

生活感を感じさせない高級感のある色

ブラウン

気持ちを落ち着かせて安定感を与えてくれる色

ベージュ

人間の肌色に近く心が落ち着く色

fromバックナンバー 174号「カラーコーディネートのコツ・色の持つイメージ」、183号「あなたのお部屋をデザイナーズモデルルームへ!」、224号「色彩・明るさ・収納のポイント!」、255号「風水・ツキを呼び込む色を取り込む玄関づくり」、264号「カラーコーディネートルール その1」もあわせてご覧ください。